

時間割コード	G1B30011	開講年度	2026				
授業題目	韓国文化（映画で学ぶ）					担当教員	延 鎮淑
英文授業名	Korean Culture (Learning about Korea through Movies)						
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	木曜・3時限	対象学生	全
講義室	共通教育4-2 講義室			授業形態	講義	遠隔授業科目	
						備考	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	大学DP						
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力					・韓国の歴史や様々な文化に対する理解が深まる ・国際理解	
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生、多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム	グローバルコア人材養成コース ・ B A S I C (国際理解)						
(4)授業の概要	映画の背景にある韓国の文化、歴史、習慣などを説明した後、映画を観る。映画を観た後、意見交換をする。						
(5)授業のキーワード	アジア文化 韓国文化 比較文化 異文化交流						
(6)授業計画	1)授業ガイダンス 2)～3)「ラブストーリー」：1960年～2000年の韓国政治・社会を解説 4)～5)「道-白磁の人」：日韓併合時代を考える 6)～7)「国家代表」：韓国のスポーツや現代社会を解説 8)～9)「トンマッコルへようこそ」：北朝鮮との関係を解説 10)～11)「国際市場で会いましょう」：1950年～現代までの韓国社会の変化を学習 12)～13)「タクシー運転手」：光州民主化運動 14)～15)「7番部屋の奇跡」：死刑制度について考える 授業アンケート（最後の15分で実施） 16) 期末試験						
(7)成績評価の方法	課題2割（光州民主化運動 ✕切：7月1日） 感想シート3割（毎回の感想） 期末試験5割						
(8)成績評価の基準	課題や期末試験の場合は、 1) 出題のテーマに沿った内容であり、 2) テーマの背景が説明出来ており、 3) インターネットのみによる資料ではなく、 4) 自分の見解を提示出来ており、 5) 教員を感心させるレベル 1)～5)の5項目を満たしていれば「授業の達成目標の水準から見て卓越している」＜秀＞、 4項目までは「授業の達成目標の水準よりかなり上にある」＜優＞、3項目までは「授業の達成目標の水準よりやや上にある」＜良＞、2項目までは「授業の達成目標の水準にある」＜可＞						
(9)事前事後学習の内容	予習しておくべき事項がある場合、eALPSにアップしておく。授業時に指示した予習事項の理解を問う小テストを行うので、それに備えてしっかり予習してから授業に臨むこと この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って、60時間以上の時間外学習が必要となります。						
(10)履修上の注意	* 「ハングル初級（読解・会話）」、「ハングル初級（文法）」、「ハングル初級（総合）」などど組み合わせると韓国文化を理解するのにより効果的である * 遅刻と認定する時間：授業開始 10分後、欠席と認定する時間：授業開始 30分後						
(11)質問、相談への対応	メール：yeonjin@shinshu-u.ac.jp 授業の前後						
(12)授業への出席	・全ての回に出席することを基本とします。 ・授業を4回以上欠席した場合、この授業の達成目標に到達することができないため、成績評価の対象外（不可）となります。 ・感染症報告システムに登録し「出席停止」と判断され、授業に出席できなかった場合は欠席とはみなしません。 ・「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により、授業に出席できなかった場合は欠席とします。						

(12)授業への出席	・授業の出欠は、出席システムと毎回の「感想・調べたこと」で確認します。着席登録ができなかった場合は、授業終了後に担当教員に速やかに申し出て下さい。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	・「出席停止」により授業に出席できなかった場合は、健康安全センターからのメールを担当教員に転送して、学修の補充に関する指示を受けてください（『共通教育履修案内』参照）。 ・「出席停止」ではなく「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により出席できず、補充を希望する場合は、所定の方法（『共通教育履修案内』参照）により、共通教育窓口で申請してください。（この場合は、出席扱いにはなりません。）
【教科書】	必要に応じてプリントを配布する
【参考書】	授業時に発表する。